

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月23日

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C		
横断的な課題	リニア新時代に向けた南信州広域観光の推進						
地域重点政策	観光素材の効果的な発信及び仕組みづくり					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課	
事業名	三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業				電話	8-237-2315	
				E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野、愛知、静岡の県境を越えた観光交流事業を実施することで、交流人口の一層の拡大を図る					
	現状と課題	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野県・愛知県・静岡県からなる三遠南信地域の発展に向けた交流人口の拡大が課題となっている。 このため、各地域で開催されるマラソン大会を活用したスタンプラリー事業を実施し、地域内周遊・交流を促進する。 なお、令和元年度に同事業を開催したが応募者数は36名に留まったため、応募要件を緩和(各県の大会に参加→2県の大会かつ3大会に参加)し、応募者数の増加を図る。					
	内容 (変更後の内容)	<p>○参加者は、対象マラソン大会の会場でスタンプを獲得し、(走者に限らず、大会スタッフ、同行家族など誰でも参加可能)合計3個集めて、専用ハガキで応募する。応募者の中から、抽選により各地域の特産品を賞品として授与することで、スタンプラリーへの参加を促して交流人口増やす。 スタンプラリーを幅広くPRするために、チラシやポスターを作成し各市町村や観光施設、体育館等に掲示する。</p> <p>・令和4年度対象マラソン大会数 15</p> <p>○今年度及び次年度の大会参加者増に向け、マラソン大会会場にブースを設けてノベルティを配布しスタンプラリー大会の周知を図る。次年度以降も対象大会にはブースを設け周知を図る。</p> <p>・令和4年度は天龍梅花駅伝参加者680人のうち概ね3割の人へPRを実施。680×30%≒210個</p>					
事業期間	令和4年7月			～	令和5年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	マラソンスタンプラリー事業	運営委託費	396,000				
	大会周知PR活動	ワンタッチテント(1張り) ノベルティ購入	131,092				
	合計		527,092				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	応募者数		50	61	● 達成		
	有効応募者数		45	59	○ 一部達成		
	特別賞要件該当者数		3	3	○ 未達成		
事業実績・成果	<p>令和元年実施時よりも約1か月前倒しで広報を開始し、さらに応募要件を緩和したことで、応募者:36人→61人、そのうちの実績者:6人→59人と、ともに大幅増加した。令和元年度は1人に留まった特別賞受賞者は3人となった。</p> <p>また、3県ともできる限り対象のマラソン大会に赴き、事業の周知や参加の呼びかけを行ったことで、来年度以降の参加者獲得につながったのではないかと考える。長野県では天龍梅花駅伝大会に赴き、ノベルティ210個とチラシを配布し、参加者680人のうち概ね3割の人へPRを実施した。</p> <p>成果として上記のような広報活動の効果により目標値を上回る応募者数、有効応募者数となり、目的に掲げている交流人口の増加に繋げられることができた。</p>						
今後の方向性	基本的な内容は令和4年度と同様とし、さらに事業の周知を図るため対象大会に赴いてスタンプラリー参加の呼びかけを行う。また、課題である長野県への来訪につなげるため、賞品を管内温泉のチケット等にすることを検討する。						